

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

施設名	大磯港		
所在地	大磯町大磯1398-18		
サイトURL	http://www.town.oiso.kanagawa.jp/sangyo/doro/1359443393477.html		
根拠条例	港湾の設置及び管理等に関する条例		
設置目的(設置時期)	港湾法に基づき、秩序ある整備と適正な運営を図るため (昭和48年8月)		
指定管理者名	大磯町		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31 (2019年) (2024年)	施設所管課 (事務所)	砂防海岸課 (平塚土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>	
<p>当施設では、大磯港の中心業務である岸壁や荷捌き地の利用承認業務を中心に、港湾の維持管理業務を着実に実施している。新型コロナウイルス感染症により、大磯町や大磯町商工会と連携した自主事業などが中止となり、令和2年5月には駐車場の利用中止、夏季の海水浴場設置の中止等により、一般来場者の利用が減少した。その中であって、「開かれた港湾」に向け、港湾環境の適切な保全運営に努めていると認められるため、今後も継続して業務に取り組まれない。</p> <p>なお、利用状況がA評価、利用者の満足度がA評価、収支状況がB評価となったため、3項目評価はA評価となった。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 大磯港の中心業務である岸壁や荷捌き地の利用承認業務を中心に、港湾の維持管理業務を着実に実施している。</p> <p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症により、自主事業の中止、5月の駐車場利用停止や、夏季の海水浴場設置の中止などの影響により来場者が前年に比較して減少したが、その中で利用者数の目標値を達成していることから、A評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 アンケートを9月に実施した。新型コロナウイルス感染症により一般来場者へのアンケートはできず、港湾利用者(業者、漁業など)を対象としたため、回答数は大きく減少した。しかし、関係機関と積極的に港湾の環境整備に取り組んだ結果、上位2段階の回答割合が78.8%となりA評価とした。</p> <p>◆収支状況 H26年度に導入した利用料金制度で指定管理者の収入となった駐車場利用料が、当初見込み額より大きく下回ったが、支出額も当初予算額よりも抑える努力をした結果、収支の比率が91.85%となったため、B評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 該当なし。</p> <p>◆事故・不祥事等 該当なし。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 特になし。</p>	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要
A	※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
大磯港の中心業務である岸壁や荷さばき地の利用承認業務。 具体的には、荷さばき地等の公平中立な利用承認及び漁業者、骨材業者の複数の事業者間の利用調整など港湾施設の維持管理業務を行う。	○岸壁利用承認…393件 ○船舶給水施設利用承認…1件 ○荷さばき地利用承認…36件	月例報告も遅延なく提出されており、適切に業務が遂行されている。
災害や異常気象に備え、連絡体制の確立、施設の巡視・点検を行うとともに災害時に緊急物資受入港に指定された場合には、施設利用者への必要な指導等を行う。	日常的に各施設の巡視・点検を実施している。 防潮門扉の作動確認・清掃作業を毎月行っている。 台風等の高波や暴風で臨港道路に飛散した土砂等の除去作業を適宜行った。	日常的に施設の適正な維持管理に努めるとともに、災害時に備えた施設の機能確認も行っており、業務は適切に行われている。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
「開かれた港湾」に係る活動 大磯港を地域の産業及び観光の拠点として位置づけ、町民や観光客に親しまれる「開かれた港」づくりに向けて関係機関と連携した取組を進める。	初日の出のための西防波堤開放…来場者800人（主催：大磯港みなとまちづくり協議会） 【コロナのため中止】 大磯市（主催：大磯市実行委員会）、釣り船体験イベント、漁業体験イベント、星空観察会、和風作り教室 （主催：大磯港みなとまちづくり協議会）

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	100,007	91,664	81,656
対前年度比		91.7%	89.1%
目標値	—	81,000	81,000
目標達成率	目標値無し	113.2%	100.8%

目標値の設定根拠：

提案書の目標値

利用者数の算出方法（対象）：

駐車場台数により算出

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

駐車場の利用台数を利用状況の目安としているため

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)	
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響	—
②令和2年度の対応状況	—

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	主たる利用者及びイベント実施時に来場する利用者を対象にアンケート調査を行う。 (年4回)	アンケートを9月に実施した。 7月、1月、2月は大磯市の来場者と釣り客を対象にしていたが、コロナによりイベント中止となったため実施できなかった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 大磯港の利用に関する満足度はどのくらいですか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 47 / 70 = 67.1%

配布(サンプル)対象 イベント時の来場者、駐車場利用者、漁業関係者、骨材関係者、サーフィン利用者等

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	13	24	6	4	47	・トイレの増設してほしい。 ・一般来場者や釣り人のマナーがひどい。
回答率	27.7%	51.1%	12.8%	8.5%		
前年度の回答数	89	226	31	23	369	
前年度回答率	24.1%	61.2%	8.4%	6.2%		
回答率の対前年度比	114.7%	83.4%	152.0%	136.5%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<p>【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p>
<p>①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響</p> <p style="text-align: center;">—</p>
<p>②令和2年度の対応状況</p> <p style="text-align: center;">—</p>

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算		56,475	27	県収入証紙 販売手数料	56,502	56,502	0	
	決算		74,635	23	県収入証紙 販売手数料	74,658	59,195	15,463	126.12%
前年度	当初予算		64,800	19	県収入証紙 販売手数料	64,819	64,819	0	
	決算		66,488	23	県収入証紙 販売手数料	66,511	66,226	285	100.43%
令和2年度	当初予算		64,800	19	県収入証紙 販売手数料	64,819	64,819	0	
	決算		56,543	24	県収入証紙 販売手数料	56,567	61,585	-5,018	91.85%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和2年度 / 9,476 前年度 / 18,613 前々年度 / 13,867

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

緊急事態宣言により令和2年4月の自粛、令和2年5月の駐車場利用停止により収入無しになる事態が起きた。(前年同月比で4月▲1,892千円、5月▲7,797千円)
また、夏季の海水浴場設置中止による来場者減少も影響が出た。

②令和2年度の対応状況

県から駐車場収入減収分(令和2年4月18日から同年5月31日まで)の金額を積算して、補填を実施した。

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。